

ハザードマップを安全・防災に役立てるために

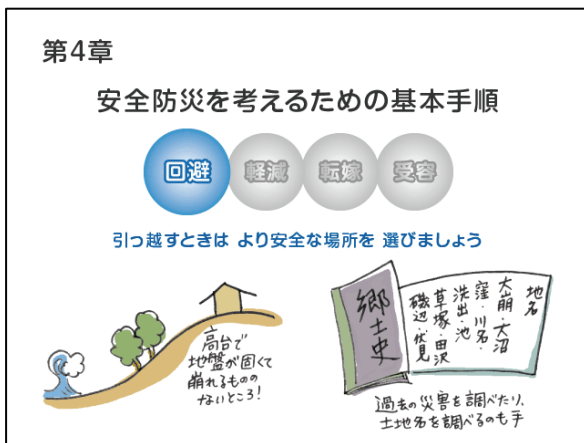
ハザードマップを通じてわかった「まちの弱点」に対し、あなた自身でできる「対策」を考え、実行してみましょう。



「対策」を考える前に

災害が起こった時には、何より「命」を一番に考え行動することが重要。

しかし、災害が起こる前に「対策」を考える機会があれば、災害による被害を最小限に食い止めることが可能となる。



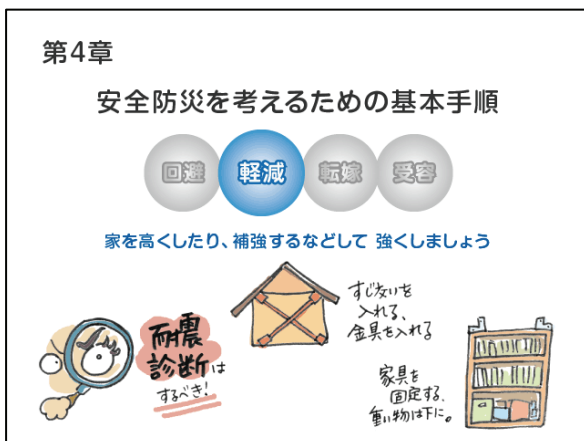
考えるべき対策①【回避】

「引っ越し」などをして、災害からなるべく「遠い」生活、災害をできるだけ「避ける」生活を意識すること。

引っ越しをする際には、次のような点に留意すると、より安全。

①できるだけ高台で、地盤がしっかりしている場所を選ぶ。

②郷土史などから、過去に大きな自然災害が繰り返しあったことがわかった場合は、その場所ではできるだけ避ける。



考えるべき対策②【軽減】

洪水への備えとしては、家屋の土台を高くすること等が考えられる。

地震への備えとしては、耐震診断をしたり、筋交いや補強金具などで家屋の強度を高めたり、家具を固定したりすること等が考えられる。

第4章

安全防災を考えるための基本手順



十分に準備して、それでも避けられない危険は
保険に入っておくと、安心です



考えるべき対策③【転嫁】

建物や家財、車などに関する経済的な損失は、貯蓄などでは十分に対応しきれない場合がある。

想定される危険の実態にあった損害保険に加入することで、リスクを移転することができる。

第4章

安全防災を考えるための基本手順



積極的に、地域の防災訓練に参加しましょう



近所の人や
地域の状況を
知るいい機会。

考えるべき対策④【受容】

災害そのものを受け入れ、地域の方々が一体となって活動することも重要。

地域の防災訓練や避難訓練に積極的に参加することで、地域のコミュニケーション活性化にもつながる。

第4章



ハザードマップを手に取り、地域の弱点は
どこか、どんな対策をしておけばよいか、
万一の時にはどう避難すればよいか、
日頃から考え意識しておくことが重要。

MEMO